

第456号 2009年8月23日

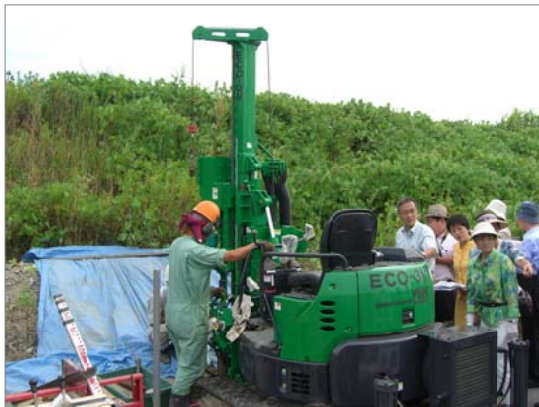
日本共産党中央区議団

中央区築地1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570



お元気ですか
志村 たかよし です

豊洲土壌汚染サンプルを廃棄するな 市場関係者と都民が都を提訴



笠井亮衆院議員（当時）らとボーリングを視察

石原都知事が、築地市場を強引に移転しようとしている豊洲の東京ガス跡地の土壌汚染問題で、8月11日、「市場を考える会」などの仲卸業者や都民ら14人が、ボーリング調査の試料として採取した土を廃棄しないように都に求める訴訟を東京地裁に起こしました。

ずさんな土壌処理策に批判

「豊洲移転」予定地では、環境基準の4万3千倍のベンゼンや930倍のシアン化合物などが検出

され、都が「水を通さず汚染は広がらない」とした地層データの欠落も発覚しています。

しかし、都は、都民の強い批判を無視して、ずさんな土壌処理策をまとめ、2014年12月に新市場を開場しようとしています。

都は土壌サンプル廃棄の方針

都は、07年8月～08年8月にかけて豊洲地区725ヶ所でボーリング調査を行い、土のサンプルを採取していますが、近く廃棄する方針です。

原告は、「都の調査は精度の保証がなく、第3者による科学的検証が必要」とし、ボーリング調査で得られた試料が廃棄されれば、土壌処理策の科学的な検証が不可能になり、「見落とされた有害物質が放置され、都民の生命、身体の安全が害される」と批判しています。



採取したサンプルを順番に並べています=07年8月

提訴後に行った記者会見で、築地市場の水産仲卸業者らでつくる「市場を考える会」の山崎治雄代表は「食の安全を守るために頑張ってきた。これからも豊洲移転阻止に力を合わせていく」と決意表明。その後、都議会各会派を訪問しました。

日本共産党都議団では、清水秀子都議らが「移転を中止させ、現在地再整備を実現させるためにがんばります」と原告の方たちを激励しました。

「オリンピック招致」のフラワーポット。今回11基見つけ、残り171基に。



まるで冬のように枯れたままでした



晴海区民館の入り口に1基（○囲み）



こちら側には3基あり、計7基です



豊海小学校には7基。○囲みに4基



新しい植物が植えられていました



豊海幼稚園の門には2基ありました



あまり手入れされていない様ですが



豊海区民館にも1基ありました